



若宮八幡宮で宮司さんから話を聞く初詣の参加者

子 育ては、母親や父親だけ
けでするものではない
と私は考える。

最近では核家族化が進んで
育児をする母親が孤立してし
まい、最悪の場合、虐待や育
児放棄といった話もよく耳に
することがあるが、子育てに
は、親だけでなく周りがあた
たかく見守ることが必要では
ないだろうか。

ただし、見守るとは、見て
いるだけではなく、いざとい
う時に声をかけたり、手助け
をすることであり、他人事と
してではなく、子どもを地域
の財産として地域全体で子育
てを支えることだと思つた。

シリーズ 「にらさきを元気にする人たち」⑦

地域ぐるみ、葦崎ぐるみ

NPPO法人葦崎子育て応援団

にら☆ぐるみん

「繋^つな^なぐ」

今月は、こういった現代の
子育てを取り巻く課題を、「地
域の繋がりが力」を高めること
で解決しようという立ち上がった
「にら☆ぐるみん」の皆さん
にスポットを当ててみた。

「にら☆ぐるみん」はもと
もとは、市民交流センターニ
コリの子育て支援センターの
職員が中心となって、昨年の
10月に設立されたNPPO法人
である。

理事長の多田麗奈さんは、

「昔は近所には子どもたちを
叱る怖いおじいさんがいたも
のですが、逆を言えば、地域
に子どもたちを見守る目があ
り、そうした中で子どもたち
も、社会におけるルールを知
らず知らずのうちに学んでい
たのですね」と話す。

「にら☆ぐるみん」もこれ
を今の時代に取り戻そうと考
えたそう、地域の方々や商
店街の方々が、子育てをする
お母さん方や、子どもたちに



にら☆ぐるみんの皆さん（後列右から2番目が理事長の多田さん）

気軽に声をかけられる環境作
りをしている。例えば、市内
の商店の方々を子育て応援団
として登録し、定期的に商店
主との交流やお店の特徴を活
かした体験教室なども開催し
ている。そうすることで、お
互いを知り合い、気軽に声が
かけ易くなると同時に、お母
さん方も商店を知るきっかけ
になり地域活性化も期待でき
るのだとか。

また、先日は若宮八幡宮に

初詣に出かけ、宮司さんから
地域の歴史などについて学ば
すというイベントも企画した。
「自分の住む地域を知るこ
とが、地域と繋がる第一歩。
街と人が繋がって、魅力がい
っぱいで子育てに優しいまち
を葦崎をつくらせて行きたい」と
話すにら☆ぐるみんの皆さん。

お互いに支えあい地域ぐる
みで子育てをサポートする。
まさににら☆ぐるみんだ。

取材・記事広報担当 歌田